

編集後記：今年の冬は日本海側を中心に12月から記録的な大雪に見舞われ大きな被害が出ています。10数年前まで北海道で降雪の研究に携わっていた一人として、自分の仕事が豪雪災害の軽減に少しでも役立っているのかと考えると、ほとんど自信がありません。気象学の発展の歴史が「明日の天気はなあに」という素朴な疑問からはじまったと考えると、やはり気象学は自然科学の中でも応用科学という側面が強く、実用的な成果を問われる学問だと思います。30分毎のひまわり雲画像をはじめ、アメダスや地上レーダーネットワークなどの優れた観測装置が当たり前になり、複数の極軌道衛星による3時間毎の全球降水観測(GPM計画)や、数kmの水平分解能での全球非静力学モデル(地球シミュレータ)といった夢が実現化されつつある現在、我々の求めているものは何か、それによる実用的な成果は何であるのかを、様々な視点から考えてみることも重要だと思います。10~30年後には、季節予報も信頼できるようになり、集中豪雨や豪雪も正確な降水量がピンポイントで予報されるようになっているのでしょうか。

大雪の話から急に南の島の話に飛びますが、道産子の私は、昨年4月から沖縄本島に住んでいます。真夏でも沖縄では涼しい海風が吹くので東京より過ごしやすく、暑ければ数あるビーチが選び放題、シュノーケルをつければそこは熱帯魚の水族館です。去年は沖縄本島は台風の直撃も受けず、9月末まで泳げました。10月中旬にはミーニシ(新北風)が吹いて夏も終わりを告げましたが、トゥンジービーサ(冬至の寒さ)も何のその、山間部で最低気温が10°Cを切って霰が降っても、寒い寒いというウチナンチュ(沖縄人)を尻目に沖縄1年目のナイチャー(内地人)には上着不要です。1月中旬には八重岳の桜祭りがはじまり日本一早い花見が楽しめます。本当のことを言うと、実際の沖縄の冬はどんよりした曇りの日が多く、風の強い日は結構寒く感じますし、1月に開花する桜は緋寒桜(ヒカンザクラ)と言って寒くなると咲く桜だそうです。

南の島ならではの季節を感じながら、気象学の将来を夢見るとともに、皆様からの投稿に支えられている「天気」の記事が今後の気象学の発展に寄与することを願っています。(佐藤晋介)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)
 編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)
 藤部文昭(理事)
 青柳曉典・池田 徹・榎本 剛
 大淵 濟・笠原真吾・勝山健一
 金田昌樹・上口賢治・川島正行
 小出 寛・小林健二・桜井敏之
 佐藤晋介・小司禎教・関山 剛
 高橋 宙・田口晶彦・寺坂義幸
 中西幹郎・中村 尚・新村典子
 林 修吾・平井雅之・別所康太郎
 水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩
 東北 土井雅彦・岡本 創
 関東 岡田憲治・河野耕平
 中部 岡田 京・永尾一平
 関西 松村 哲・堀之内 武
 九州 磯部英彦・中島健介
 沖縄 新里博美

編集書記 棚橋 公子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp